

ケアプラン作成に AI 導入、2040 年に向けた介護体制の強化へ

厚生労働省は「2040 年に向けたサービス提供体制等のあり方検討会」の最終報告書を公表。

加速する人口減少・高齢化の中で、介護サービスを持続可能にするための方針を示しました。

主なポイントは以下の通りです：

- AI を活用したケアプラン作成や、サービス担当者会議の議事録作成支援などを推進。
 - AI が下書きを行い、専門職が確認・追記する「二段階運用」を想定。
- LIFE データ等の活用により、科学的介護・エビデンスに基づく介護を推進。
- DX 化や事業者間の連携を進め、業務効率化と質の高いサービス提供を目指す。
- 訪問先での福祉用具貸与員の活用も検討し、現場の業務負担軽減を図る。

ポイント

厚労省は「AI によるケアプラン作成支援を含め、今後さまざまな現場での導入を検討する必要がある」と明記しており、AI の本格的な介護現場活用に向けた動きが始まっています。

